

- 県内8大学を結ぶ遠隔授業スタート！
- シンボルマークが決定しました！
- 遠隔授業で他大学の授業もチョイス！
- 単位互換制度について
- 履修登録から単位取得まで
- 編集後記

高等教育コンソーシアム信州事務局
〒390-8621 長野県松本市旭 3-1-1 信州大学学務課内
電話：0263-37-2427 FAX：0263-36-3044
URL：http://www.c-snet.jp/ MAIL：office@c-snet.jp

※「S-NET」は高等教育コンソーシアム信州の通称です。「S」は Shinshu・Self-Study・Share・Scale・Social を表し、「NET」は情報通信・教職員・学生間のネットワークを表します。

県内8大学を結ぶ遠隔授業スタート！

平成22年度から、高等教育コンソーシアム信州加盟8大学を遠隔講義システムで結ぶ「遠隔授業」がスタートします！「遠隔授業」は、「長野県内大学単位互換制度」の新たな受講スタイルで、1年生から受講することができます。他大学が配信する授業を自大学の講義室で受講し、それが自大学の単位に認定されるというものです。もちろん、入学料、授業料は無料です。

単位互換制度、遠隔授業のどちらも、自分の大学では学べない分野の授業を受けることができたり、資格取得に向けて他大学の科目を履修計画に取り入れるなど、工夫しだいでさまざまな単位を修得することが可能です。

高等教育コンソーシアム信州加盟8大学

信州大学 長野県看護大学 佐久大学 諏訪東京理科大学
清泉女学院大学 長野大学 松本歯科大学 松本大学

1.単位互換制度

学生が自ら他大学へ出向いて授業を受講し、それが単位認定されるという制度です。長野県内の大学へ通う2年次以上の学部生、及び大学院生が対象です。

他大学のキャンパスで授業を受けるので、教員に直接質問をしたり、他大学の学生と知り合うこともできるでしょう。また、通学する他大学の図書館や福利厚生施設を利用することができます。県内大学では、これまでに76名の学生がこの制度を利用して単位を修得しています。

2.遠隔授業

平成22年度からスタートする新しい受講スタイルです。高等教育コンソーシアム信州加盟大学に導入された遠隔講義システムを利用し、前・後期合わせて22科目の授業を県内8大学が配信・受信します。遠隔授業では、自大学にいながら他大学が配信する授業を受講することができるので、単位互換制度では通うことができなかった遠方の大学の授業を受講することができます。

シンボルマークが決定しました！

高等教育コンソーシアム信州のシンボルマークが、このほど決定しました。昨年12月末の締切日までに、県内在住の11名から14点のご応募をいただきました。ご応募いただいた皆さま、本当にありがとうございました。

高等教育コンソーシアム信州推進チーム会議における厳正な審査の結果、長野大学3年橋爪勇志さん(上田市)の作品が最優秀賞としてシンボルマークに決定しました。

橋爪さんの作品は、高等教育コンソーシアム信州のシンボルマークとして、ホームページや印刷物に使用いたします。今回の「S-NET NEWSLETTER」にも、さっそく巻頭に登場しました。

また、佳作には、小林直人さん(松本市)、森下諒子さん(飯田市)の2点が選ばれました。



長野大学企業情報学部企業情報学科3年
橋爪 勇志 さん



コンソーシアムという核(中央の赤い丸)を、長野県内の高等教育機関が手を取り合って協力している様子を表しています。信州(Shinshu)の頭文字「S」と「人」をイメージし、さらに県内8大学を漢数字「八」になぞらえデザインしました。また、信州の自然をイメージした、山の「緑」と川の「水色」をカラーに用いました。



小林 直人 さん



森下 諒子 さん



遠隔授業で他大学の授業もチョイス！

平成22年度にスタートする単位互換制度の「遠隔授業」は、県内8大学が配信する授業を、自大学にいながらにして受講することができるという制度です。「遠隔授業」は、長野県内の各大学から、毎日、前・後期合わせて22科目が配信されます(一覧表参照)。長野県内の大学へ通う大学生(大学院生)なら、どなたでも受講することができます。

また、「遠隔授業」で配信される授業の資料配布やレポートの提出、学生への連絡などは、高等教育コンソーシアム信州の授業支援システム「eChes(イーチェス)」を利用して行われます。

「eChes」とは、e-Learningの「e」と、高等教育コンソーシアム信州の英語表記「the Consortium of Higher Education in Shinshu」の頭文字「c」「h」「e」「s」から名づけられました。「遠隔授業」の受講が決定した学生には、「eChes」のログインIDが送られます。



4月から高等教育コンソーシアム信州の遠隔配信授業が始まります!!

平成22年度4月から、遠隔配信システムを通して、自大学の教室にいながら長野県内の他大学の授業を聴き、単位が取れるようになります。長野県内大学に通う学部生、大学院生なら誰でも受講できます!



高等教育コンソーシアム信州 平成22年度 遠隔授業一覧

【前期】				【後期】			
配信大学名	教員名	科目名	配信曜日	配信大学名	教員名	科目名	配信曜日
清泉女学院大学	辻村美子	英語基礎Ⅱ(たてなおしの英語)	平成22年4月12日	信州大学	松岡幸司	ドイツ語(初級)	平成22年4月12日
松本歯科大学	清原英次	基礎自然科学(数理系)Ⅰ	平成22年4月12日	松本大学	渡辺中広	日本国憲法	平成22年4月12日
松本大学	竹尾孝子	看護基礎理論	平成22年4月12日	信州大学	矢野正之	物理学の世界	平成22年4月12日
清泉女学院大学	神村和子	英語基礎Ⅰ(たてなおしの英語)	平成22年4月8日	信州大学	加藤誠三	社会の中の個人として生きる	平成22年4月8日
信州大学	藤尾純和	発達・学校臨床の実際	平成22年4月8日	信州大学	藤原子	現代中国事情	平成22年4月8日
長野県看護大学	加藤誠三	国際看護学	平成22年4月16日	信州大学	加藤誠三	大学院生向け英作文(5単位)	平成22年4月9日

【前期 完全e-Learning科目】※全ての授業をe-Learningで行いますので曜日時間の制約はありません。

配信大学名	教員名	科目名
信州大学	鈴木雅昭	電子出版と社会

【後期】			
配信大学名	教員名	科目名	配信曜日
信州大学	小山竜子	哲学と政治	平成22年10月4日
信州大学	小山竜子	民主主義について	平成22年10月4日
松本歯科大学	清水隆浩	医用生体工学	平成22年9月28日
諏訪大学	清水隆浩	機械システム工学通論	平成22年9月28日
松本大学	藤原中広	環境マネジメント	平成22年9月28日
信州大学	加藤誠三	生態学B	平成22年9月20日
信州大学	加藤誠三	現代中国事情	平成22年9月20日
信州大学	加藤誠三	大学院生向け英作文(5単位)	平成22年10月1日

お問い合わせ先:各大学の学務(教務)担当係へ

平成22年度 遠隔授業一覧

	前期	後期
月曜日	清泉女学院大学 信州大学	英語基礎Ⅱ(たてなおしの英語) ドイツ語(初級)Ⅰ
火曜日	松本歯科大学 松本大学	基礎自然科学(数理系)Ⅰ 日本国憲法
水曜日	佐久大学 信州大学	看護基礎理論 物理学の世界
木曜日	清泉女学院大学 信州大学	英語基礎Ⅰ(たてなおしの英語) 発達・学校臨床の実際 社会の中の個人として生きる
金曜日	長野県看護大学 信州大学	国際看護学 大学院生向け英作文
		哲学と政治 ドイツ語(初級)Ⅱ 民主主義について 社会学 医用生体工学 機械システム工学通論 環境マネジメント 生態学B 現代中国事情 新聞と私たちの社会(信濃毎日新聞寄附講義) 大学院生向け英作文

※このほかに、前期完全e-Learning科目として、信州大学から「電子出版と社会」が配信されます。

※「大学院生向け英作文」(前期・後期とも金曜日)は、単位なしの科目です。

単位互換制度について

		「通学」スタイル	「遠隔授業」スタイル
概要		学生(大学院生)は、希望する履修科目の開講されている大学(受入大学)へ直接足を運び、授業を受講します。	「高等教育コンソーシアム信州」が導入した遠隔講義システムによる受講方法です。学生(大学院生)は、自大学の遠隔講義室から希望する他大学の履修科目を受講します。
受講場所		各履修科目が開講される大学	自大学の遠隔講義室
対象学生		長野県内8大学に在学する2年次以上の学部生、大学院生 ※「通学」スタイルでは、1年次学部生は受講できません。	長野県内8大学に在学するすべての学部生、大学院生 ※「遠隔授業」スタイルは、1年次学部生も受講できます。
募集要項	配布時期	各学期の始め(「前期・通年」は3月下旬、「後期」は9月上旬ごろ) ※詳しくは各大学発行の募集要項をご覧ください。	毎年度の始め(4月上旬) ※1年間分の受講の手引きがシラバスとともに公開されます。
	配布場所	自大学(学部)の学務(教務)担当係、または高等教育コンソーシアム信州のホームページでご覧いただけます。	
シラバス		<ul style="list-style-type: none"> ●信州大学、諏訪東京理科大学、清泉女学院大学、長野大学、松本大学は、各大学のホームページでご覧いただけます。 ●長野県看護大学、佐久大学、松本歯科大学は学務(教務)担当係へお問い合わせください。 ※シラバスの内容に関する詳細は、各大学(学部)の学務(教務)担当係にお問い合わせください。 ※一部大学ではWeb公開をしておりませんのでご了承ください。	<ul style="list-style-type: none"> ●各大学(学部)の学務(教務)担当係に置いてあります。 ●高等教育コンソーシアム信州のホームページから、シラバスがご覧いただけます。 ビデオシラバスがある科目については、希望する履修科目の選択時及び当該授業の初回開講日までに視聴することをお勧めします。 ※「遠隔授業」スタイルのシラバスの内容に関する詳細は、配信大学の学務(教務)担当係にお問い合わせください。
申し込み方法	用紙	「県内大学単位互換履修生願」に必要事項を記入し、自大学(学部)の学務(教務)担当係に申請してください。	「受講登録票」に必要事項を記入し、自大学(学部)の学務(教務)担当係に申請してください。
		自大学(学部)の学務(教務)担当係、または高等教育コンソーシアム信州のホームページで入手できます。	
	期限	受入大学の出願期限まで。	所定の期日まで。
お問い合わせ		自大学(学部)の学務(教務)担当係へお申し出ください。 なお、高等教育コンソーシアム信州の遠隔講義システムについては、下記へお問い合わせください。 Tel:0263-37-2956 Mail:campus-eches@shinshu-u.ac.jp	

※「通学」スタイル、「遠隔授業」スタイルとも、科目等履修生、研究生及び委託生等は単位互換制度の受講対象になりません。
 ※単位互換制度の詳しい受講方法については、高等教育コンソーシアム信州のホームページ(<http://www.c-snet.jp/>)をご参照ください。

履修登録から単位取得まで

	「通学」スタイル	「遠隔授業」スタイル
STEP 1 科目を調べる	<p>〈前期・通年科目〉 3月下旬から、各大学の前期・通年募集要項が公表されます。</p> <p>〈後期科目〉 9月上旬から、後期募集を行う大学の募集要項が公表されます(後期募集を行わない大学もあります)。</p>	<p>4月上旬に、高等教育コンソーシアム信州事務局から、前期・後期一括のシラバス(冊子シラバス、webシラバス、ビデオシラバス)が公表されます。</p>
STEP 2 申し込み	<ul style="list-style-type: none"> ● 出願期間などの募集内容は、受入大学により異なります。各大学が発行する募集要項をよく読んで申し込みをしてください。 ● なお、前期出願期間中に、後期履修生を同時募集する大学もありますので注意してください。 <p>履修希望科目が決まったら、「県内大学単位互換履修生願」へ記入し、自大学(学部)の学務(教務)係へ提出します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● シラバスは前期・後期一括で公表されますが、申し込み受付は前期・後期の各学期の始めに行われます。 ● 受講登録は、自大学が定める所定の期日までに申し込んでください。 <p>履修希望科目が決まったら、「受講登録票」へ記入し、自大学(学部)の学務(教務)係へ提出します。</p>
STEP 3 受入審査	<p>自大学を通じて、受入大学から学生へ通知されます(受入人数は科目により異なります)。</p>	<p>自大学を通じて、配信大学から学生へ通知されます(申し込み多数の科目は、抽選になることがあります)。</p>
STEP 4 受講開始	<p>受入大学へ通学し、受講します。</p>	<p>自大学の遠隔講義室で受講します。授業の資料配布、レポート提出、学生への連絡等は、高等教育コンソーシアム信州の授業支援システム「eChes(イーチェス)」を利用して行われます。</p>
STEP 5 試験	<p>受入大学に出向いて試験を受けます。</p>	<p>レポートを提出する、試験を受けるなど、科目により異なりますので、シラバスで確認してください。</p>
STEP 6 単位認定	<p>受入大学の担当教員が成績を評価します。自大学を通じて受入大学から学生へ成績が通知され、単位が認定されます。</p>	<p>配信大学の担当教員が成績を評価します。自大学を通じて配信大学から学生へ成績が通知され、単位が認定されます。</p>

編集後記

遠隔でよその大学の授業を無料で受けられるなんて便利だしおトク!一人でも多くの学生さんが遠隔授業を受講してくれますように、と事務局の片隅で祈る毎日です。新1年生も受講できる遠隔授業のスタートで、コンソーシアムにも新しい春がやって来ます。